

西三河都市計画・都市高速鉄道

名古屋鉄道 名古屋本線・三河線

知立駅付近連続立体交差事業



高架化
スタート

2023年3月21日から
名古屋本線豊橋方面行が
高架に切り替わりました。



連続立体交差事業について

知立市は、名鉄名古屋本線が東西に、名鉄三河線が南北に走り、知立駅及び三河知立駅を中心に市街地が形成され、鉄道が都市の発展に大きな影響を与えてきました。

しかしながら、道路交通の増大に伴って、朝夕の通勤時間帯を中心に主要な道路では渋滞が発生し、また鉄道による市街地の分断は、まちの発展の妨げになってきました。

そこで、こうした状況を解消して、都市交通の円滑化、踏切事故の解消及び市街地が一体化した良好なまちをつくるため、知立駅付近連続立体交差事業を進めています。

さらに、「100年に1度のまちづくり」として連続立体交差事業に併せて、街路事業、土地区画整理事業及び市街地再開発事業などを進めており、これらの事業を一体的に実施することにより、知立駅を中心とした「魅力あるまちづくり」を実現します。



知立駅付近の踏切

連続立体交差事業の効果

●車や人の流れがスムーズになります。

道路と鉄道を立体交差化することにより、多くの踏切を一挙に除却し、車や人の流れをスムーズにします。また、踏切事故の心配がない安全なまちをつくるができます。



踏切が除却された道路

●まちづくりを促進します。

鉄道で分断されていた市街地は、連続立体交差事業と併せて土地区画整理事業などを実施することにより、道路や公園、駅前広場などの整備が進み、誰もが快適で安心安全な魅力のあるまちに生まれ変わります。

また、連続立体交差事業によって生み出される鉄道の高架下空間は、公園・店舗・駐輪場・駐車場などで有効に活用できます。



高架下を利用した駐輪場

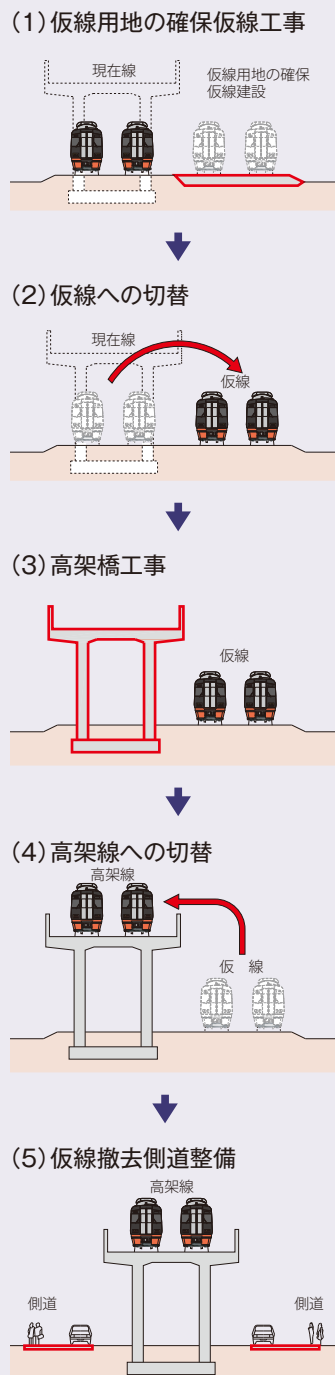
●鉄道施設が改良されます。

駅構内にはエレベーターやエスカレーターが設置され、バリアフリー化されるとともに駅の利便性が向上します。

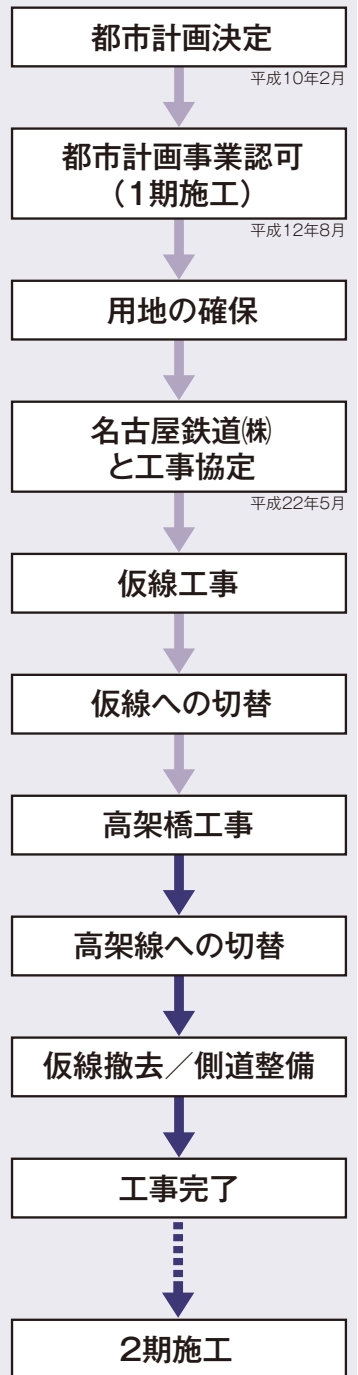


駅に設置されたエレベーター

施工順序図(仮線方式)



事業の流れ



事業計画の概要 (1期施工)

項目	名古屋本線	三河線 (豊田方面)	三河線 (碧南方面)
事業主体	愛知県		
都市計画 決定区間	刈谷市一ツ木町五丁目 ～知立市牛田一丁目 約3,360m	知立市池端一丁目 ～知立市八橋町城下 約3,030m	知立市池端一丁目 ～知立市上重原町城後 約2,020m
事業区間延長 (約4,980m)	刈谷市一ツ木町五丁目 ～知立市内幸町加藤 約1,560m	知立市池端一丁目 ～知立市牛田町裏新切 約1,880m	知立市池端一丁目 ～知立市東上重原四丁目 約1,540m
高架延長(約4,260m)	約1,560m	約1,160m	約1,540m
交差街路	都市計画道路…6路線 その他道路…9路線	都市計画道路…5路線 その他道路…3路線	都市計画道路…5路線 その他道路…6路線
踏切除却数	10箇所		
総事業費	約792億円		
事業施行期間	平成12(2000)年度～令和10(2028)年度		
関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・知立駅周辺土地区画整理事業 ・知立駅南土地区画整理事業 ・知立駅北地区市街地再開発事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 9路線 	
関連側道	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 7・6・653 名本側道1号線 (L=65m,W=9m) ◆ 7・5・654 名本側道2号線 (L=166m,W=12m) ◆ 8・6・652 三知緑道線 (L=380m,W=8m) 		



全体鳥瞰図